

神代植物公園

植物多様性センター

ボランティア
からの報告

8月3日 3名、 8月10日 4名
8月17日 1名、 8月24日 2名
延べ10名参加 ※8月31日は台風の影響により中止
となりました。

学習園の植栽管理に関わる様々な活動を行いました。園地管理作業は前もって具体的な計画が立てづらいため、その日や前後の天候、植物の生育状況、園地の目指している姿、当日の参加人数などに応じて作業を選定させていただきました。選択除草、植栽、低木の徒長枝剪定、草本植物の誘引、ツル除去、落ち葉かき、台風の後の落枝回収などを、植物多様性センター・ボランティア（年間を通して活動している方）や、インターンシップの大学生と協力して実施しました。園地管理にはたくさんのお手が必要なので、暑い中ご参加いただきとても助かりました。ありがとうございました。

年齢の離れた方とも協力して楽しく作業を進め、怪我なく活動を終える事が出来た。



身近に生えている植物にも魅力がたくさんあることがわかりました。丁寧に説明していただき、ありがとうございました！



様々な動植物を見ることができ、詳しい解説もしてくれたのでとても楽しかったし良い経験になりました。



植物について分かりやすく教えてもらいながらの活動でした。ボランティアというより、さながら無料講座のようでした。楽しみながら知見を得ることができました。



植物公園は本園の方しか神代植物公園はないと思っていたが、分園があることを知った。他のボランティアの方や職員の方のマニアックな話や動植物への愛情など学ぶことがあってとても楽しかった。

団体から
ボランティアのみなさんへ

ボランティア活動では、仕事ではなかなか関われないような幅広い分野の活動に携われることが大きな魅力だと思います。慣れない環境で、知らない人たちと活動するのは勇気がいると思いますが、ぜひいろいろな活動に参加してみてください。

植物多様性センターの学習園は人工的な場所ではありますが、自然に近い景観づくりを目指しているため、いわゆる“雑草”を見分けながら作業することがとても大切です。地味で難しそう…と思うかもしれませんが、実際に植物を触ってみると少しずつ違いや種名が分かるようになってきます。

植物多様性センター・ボランティアは、植物と昆虫の関りを学んだり、図鑑に載っていないような小さな発見をしたりして、自然観察を楽しみながら活動しています。野生植物が好きな方なら初心者でも大歓迎ですので、機会があればぜひご参加ください。

ガイドツアーや講座などのイベントもたくさんありますので、お気軽に足を運んでいただけたら嬉しいです。

神代植物公園 植物多様性センター 山内実可子 様より

HP



X (twitter)



神代植物公園

植物多様性センター 夏休みナイトツアー



8月3日 2名参加

夕方から集まっていただき、講座「ようこそ！夜の植物多様性センターへ」（ナイトツアー）の運営全般を補助していただきました。学習園には街灯がほとんどないため、参加者が夜間に安全に移動できるよう、講座前は誘導灯の運搬と設置、終了後の回収を行いました。講座中は、家族連れが多い中で参加者が迷わないように、見守りをお願いしました。長い時間の活動となり大変だったと思いますが、お陰様で事故なく楽しく終えることができました。ありがとうございました。

ボランティアからの報告

ナイトツアーで観察したカラスウリの花

自分以外にも、ボランティアがいて、そういう人達にも関わることが出来て嬉しかったです。



案内しつつ自分も普段はできない体験や新しい知識を知ることができてすごく面白かった。また機会があればやりたいです。



団体からボランティアのみなさんへ

ボランティア活動に参加してみて、楽しかったですか？それとも大変でしたか？最初は疲れたなと感じることもあったかもしれませんが、何回か活動してみると自分が楽しめるペース配分がわかってくると思います。これからも楽しく続けていただけたら嬉しいです。

植物多様性センターにはいろいろな植物があり、いろいろな生き物が集まってきます。こういった講座などを通して、たくさんの人に身近な自然のおもしろさを知っていただけたらいいなと思っています。

ボランティア活動はもちろん、植物観察を楽しみたいときも、のんびり過ごしたいときも、ぜひ植物多様性センターを活用してください。これからもたくさん遊びに来てくださいね。

神代植物公園 植物多様性センター 山内実可子 様より



HP



X (twitter)



調布市子ども家庭支援センター

すこやか



8月4日 1名、8月7日 4名、8月9日 2名
8月11日 2名、8月13日 3名、8月14日 3名
8月23日8名 延べ23名参加

- ・なつまつりに向けた準備
- 配布館内図の色塗り・装飾の作成・必要書類のカット・工作材料の準備・なつまつりポスター作成・盆踊り練習など
- ・なつまつり当日
- コーナー（さかなつりや工作）の見守り・靴袋の配布・プログラムの告知（呼び込み）・おみこしや盆踊りの盛り上げ・応援 など

ボランティアからの報告

小さい頃によく遊びに行ってお世話になった場所で、今度は自分が楽しませる側になれて、職員の人たちの裏での準備の大変さを知ることができました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



同じ年の子供だけでなく、年齢の離れたお姉さんや、大人の方と同じ目的に向かって頑張っている姿を見て、保護者として少し成長を感じました。



準備の日に参加した際広場で夏祭りの宣伝をしたところ偶然すこやかの帰り道で広場にいた親子に会い声をかけてくれた。「宣伝かっよかったよ！夏祭り楽しみにしてるね」と言われ、大変嬉しかったようで「すこやかの先生や広場の子たちの役に立ててよかった！」と言っていた。夏祭り前日には家で「声かけの練習しなくちゃ」とはりきっており、昔からお世話になっているすこやかのお手伝いがとても良い経験ができた。



なつまつり当日のぼんおどりと靴袋配りが楽しかった。なつまつり準備ではぬりえの作業が楽しかった。



とても楽しかったそうです。ボランティアというより、本人にとっては遊びの要素が強かったようです。



普段交流のない小さな赤ちゃんが可愛かったです。弟がお神輿をかつぐ姿が見られて嬉しかったです。



2日とも同じ作業ではなく少し難しい仕事や、責任重大の仕事ができてよかった！当日行けなかったけど役に立ってれば良いです。



夏まつりの準備のお手伝いをしました。作業について丁寧に教えてもらって嬉しかったです。作業をしっかり頑張ることができました。ありがとうございました！



特に案内役をがんばりました。よびこみ台本を準備の時にもらっていたので本番までに家で練習することができました。ありがとうございました！



団体からボランティアのみなさんへ

すこやかでは、多くのボランティアの方にご協力いただきながら事業を運営しています。地域の皆様にご協力いただくことで、地域の輪も強くなり、子育て支援がより広くできるようになると考えています。すこやかのボランティアさんのなかには、ピアノやヴァイオリンの演奏者や、お手玉の会、お琴の演奏など、高校生・大学生など特技を生かして活動して下さる方々もいらっしゃいます。すこやかを演奏の場として利用していただきながら、地域の子育て家庭も見に来て親子でリフレッシュが出来る、お互いにwinwinな関係が築けていると思います。「特技なんてないかも…」と思われる方も不安に思う必要はありません。子育て支援を応援したい！という気持ちがあれば、大歓迎です。私たちと一緒に、地域の子育てを応援しませんか？ ご連絡お待ちしております★

調布市子ども家庭支援センターすこやか 三牧 様・上野 様・大久保 様 より



Instagram



HP



仙川オレンジカフェ



8月27日 3名参加

仙川オレンジカフェの夏祭りで、トコロテンつき、玉こんにゃく配膳、ソースせんべいにジャムを塗るなどの簡単な調理や、おかしすくいの出店のお手伝いをしました。

参加されたお年寄りの方々と一緒に、盆踊りも楽しみました。



ボランティアからの報告

初めてのボランティアでしたが、スタッフの方もお客様も優しくて楽しかったです！
またやりたいと思いました。



初めてのボランティアでちゃんと出来るか不安がありましたが、スタッフさん他皆さんがあたたかく迎えて下さり、また気に掛けて下さったので心強かったです。

色々な人にお礼を言ってもらえるのもとても嬉しくて、やりがいを感じました。
玉こんにゃくはとても美味しかったです。



団体からボランティアのみなさんへ

最近では、認知症という言葉も馴染んできましたが、「家族が認知症になったらどうしよう。」
「認知症になったら困る。」そんな不安は、変わらず聞かれます。

認知症カフェは、認知症の人とその家族が気軽に立ち寄れるカフェのことで、地域の人たちとのつながりを作るきっかけができる場所です。そこでは地域の住民、介護や医療の専門職など誰もが参加できる場所として、お茶を飲みながら話をし相談をしながら交流を深めることができます。
ボランティアの方が、参加者と一緒に自分も楽しんで活動してほしいと思います。

仙川オレンジカフェ 深澤良子 様より

認知症を学び、専門職や地域の方と出会うカフェ
仙川オレンジカフェ

毎月第4火曜日 13:00~15:00 (参加費:100円)

緑ヶ丘地域福祉センター 大集会室

問合せ: 緑ヶ丘コーナー 伊藤 03-3326-4088 (火・木・土)



仙川オレンジカフェメンバー

仙川保育園



8月5日 1名
 8月7日 1名
 8月12日 1名 延べ3名参加 ※欠席あり

仙川保育園では、幼児クラスの保育補助・雑務のお手伝いをさせていただきました。

子ども達にたくさん話しかけられ、ボランティアの方たちは、とてもうれしそうに関わってくれました。

ボランティアからの報告

保育の楽しさなど体験することができて、今後もこのような機会があれば参加したいと思いました。ありがとうございました！！



保育の現状を拝見することができとても参考になりました！子ども達もとても可愛く、勉強になることも多くあり、とても大切な経験になりました。



団体からボランティアのみなさんへ

保育園の子ども達は、自分達と遊んでくれる人が大好きです！子ども達と関わる中で、純粋に「人が好き」「私は（僕は）これがしたい！」という子ども心を思い出してくれたら嬉しいです。自分の心に素直になれること、間違いなしです！
 保育のお仕事は、子ども達の真っ白な心のキャンパスに様々な色を付けていくお仕事です。子どもと一緒に向かい合う中で、自分自身も成長出来ます。是非一步踏み出し、子ども達と関わる保育のボランティアをしてみませんか？いつでもお待ちしておりますよ～♪

仙川保育園 園長 小柳綾子 様より



HP



社会福祉法人 三社会
仙川保育園

社会福祉法人 新樹会

創造農園「空と大地と」



8月19日 1名参加

ボランティアの方は、事前打ち合わせの時から様々なことに興味を持っておられたため、作業に取り組んで頂きながら、事業所の様子をみていただくことにしました。

午前中には職員や利用者の参加するミーティングに参加後、B型事業所内のカフェ「空と大地と」にて利用者や職員の関わっている様子を見ていただいたり、一緒に作業(配膳、注文、仕込み、ドリンク作り、片づけなど)をしていただいたりしました。

ボランティアからの報告

初めてのボランティアでしたが、とても素敵なものになりました。ありがとうございました。



団体からボランティアのみなさんへ

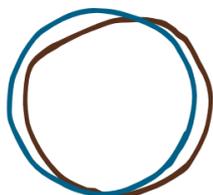
ボランティア活動に興味を持ってくださった方は、きっと様々な期待や不安があるのではないのでしょうか？サマーボランティアでは、たくさんの施設や団体がプログラムを提供しています。ご自身の興味がある事柄について、自主性をもって体験したことは、将来必ず意味のある出来事になってくると思います。

創造農園は、精神障害者の方の就労支援をしている作業所です。どんな人がいるのだろう、どんなことをしている場所なのだろう、と少しでも興味をもってくださった方！！

私たちと一緒に作業に参加してみませんか？

創造農園 石川 様より

社会福祉法人新樹会 創造農園
調布市東つつじヶ丘2-27-1
03-5314-7081



空と大地と
SORA to DAICHI to



HP



調布ゆうあい福祉公社

だれでもカフェこくりょう



8月25日 2名参加 ※欠席あり

だれでもカフェこくりょう(認知症カフェ)では、会場の設営、片付け、参加者へのお茶出し、お話の相手をしていただきました。
参加されている高齢者の方にとっては、ボランティアの皆さんが孫、ひ孫世代の年代でした。コミュニケーションを楽しまれているようでした。ボランティアさんも同様、笑顔が見られました。

ボランティア
からの報告

注文をとり、ウェルカムドリンクを運ぶことは、バイト未経験者の自分にとっては、かなりことになる経験だった。

注文をとり終わり手が空いたので、お客様と一緒にお話をした。

緊張で会話が途切れ途切れになってしまうこともあったが、お互いに色々な話題について話して、人生の深いアドバイスもくれたため将来に対する見方が変わった。



カフェだったのでお茶のオーダー、お茶出しもやらせてもらい、社会勉強になりました。その後のみなさんとのお話しで昔話など聞かせてもらいとても楽しかったです。



団体から
ボランティアのみなさんへ

だれでもカフェは、地域の高齢の方が沢山参加されています。若い世代の方とお話したり、交流することがとてもうれしく、楽しんでいます。その場にいていただけるだけでも、場が明るくなります。
初めて行くところは、どんなところかわからず、参加しづらいと思いますが、きっとよい経験をすることができると思います。
是非、ご参加してみたいかがでしょうか。

調布ゆうあい福祉公社 だれでもカフェこくりょう 宮下和男 様より



HP



TEAM COBRA



8月18日 3名参加

ディスコパーティー会場設営、障がいのある方との交流・介助、イベント盛りあげ、片付けなど

積極的に交流し、参加した方々と楽しんでいました。

ボランティア からの報告

参加した時、知らない人たちがばかりで緊張しましたが、ダンスを踊っているうちに、楽しくなっていました。

知らなかった曲もたくさん知れて日常が楽しめそうです。ありがとうございました。



障がいの有無に関係なく、誰もが楽しめる場を作る貴重な経験でした。

このイベントを通して、音楽とダンスが持つ力を再認識しました。言葉がなくてもリズムに乗り、気持ちを共有できる空間に、人と人をつなげる力があるように感じます。

こうしたイベントが多く、多くの場所で開催され、より多くの人々が参加できる機会を作りたいと思いました。



団体から ボランティアのみなさんへ

ボランティア活動のはじめの一歩を踏み出した方もいらっしゃると思います。

様々なものにチャレンジして視野を広げてください。

仲間を作ると楽しいですよ。

チームコブラ 朝日敏幸 様より

チームコブラは、遊び心をモチーフに、ダンスを中心とする障がいの垣根を越えた様々な楽しみの場を提供しています。

また障がいのある人の余暇活動の一つとして外出の機会を増やし、地域の社会資源の活用と一般市民を巻き込んだ活動により、バリアフリー社会実現の一助となることを目的としています。ディスコパーティー、お食事会、ダンスレッスン、大規模なダンスイベントを企画。



調布災害フォトボランティア(調布SPV)



8月10日 4名
8月24日 3名 延べ7名参加 ※欠席あり

調布災害フォトボランティアでは、写真洗浄の体験をしていただきました。
災害等で浸水被害を想定して人工的に汚した写真を、水洗いしてからアルコール拭きで仕上げ、きれいにする作業をしていただきました。

ボランティアからの報告

私は人に助けてもらうのが嬉しいから、他の人をもっと助けようと思った。



今度、災害が起きた時に実践してみようと思いました。



写真を復活する体験をさせてもらって、綺麗に汚れが落ちなかったり、真っ白になってしまうこともあって驚きました。2019年からボランティア活動をしている方たちがすごいと思います。



今回、浸水被害にあった写真の洗浄作業のボランティア活動について初めて知り、被災された方々への気持ちに寄り添って持ち主の方が喜んでもらえるよう作業を進め、とても素敵な活動で貴重な体験をさせていただきました。またお手伝いが出来ればと思いました。



いろいろな人の思い出が詰まった大切な写真をきれいにするなんて、凄い綺麗な活動だなと思いました。



団体からボランティアのみなさんへ

映像がほとんど無くなってしまった写真でも、誰かの大切な写真なので、一枚一枚丁寧に写真を洗っていただき嬉しかったです。
自分の得意な事が誰かの助けになる事もあるので、こちらからも色々挑戦してみてください。
調布災害フォトボランティア 鈴木真弓 様より



調布
SPV

X (twitter)



Facebook



調布市武者小路実篤記念館



8月17日 3名参加

武者小路実篤記念館では、夏休みイベントのうちわに絵を描く講座のサポートをお手伝いしていただきました。

参加者が時間内でスムーズに作品を仕上げられるよう、積極的に筆洗水や敷紙の交換などで機敏に動いていただきました。

ボランティアからの報告

あらゆる世代の方々と関わる事ができる貴重な機会でした。

様々なサポートができたことに喜びを感じています。今後も文化の交流や協力を通して、多世代の方々との出会いを大切にしたいと思います。

ボランティア終了後にはお話を伺うお時間をいただき、ありがとうございました。思いも寄らない接点に繋がりを感じ、帰り際に見学させていただいた記念館にも心が和みました。また機会がございましたらよろしく願いいたします。



相手が知り合いではない方であっても、ボランティアを通じて活動を支援できたことが嬉しかった。



初ボランティアで少し緊張していましたが、スタッフの方々もとても優しくお仕事内容を教えてくださってスムーズに取り組みました。色々な人と関わりを持って、新しい交流ができたし、みんなで協力して楽しくイベントを終わらせることができ良かったと思います。お世話になりました☺午前中は大人の方が多く、午後は小さな子達が多かったです。工作や作業的なことをするのが好きな方におすすめです！！



団体からボランティアのみなさんへ

武者小路実篤記念館は、文学、美術、演劇、思想と幅広い分野で活動し業績を残した武者小路実篤を顕彰する施設です。作品や愛蔵品、邸宅などを保存・公開する他に、実篤や記念館を知ってもらうための普及活動として、様々な講座を実施しています。

2024年は、うちわに絵を描く講座で、参加者へのサポートをお願いしました。

時間内で作品が仕上がるようお手伝いくださり、講座に参加した方々から、とても喜ばれました。

いろいろなボランティア活動があり、迷うかもしれませんが、少しでも気になるものがあったら、まずは参加してみてください！1日だけの体験でも、きっと何か心に残ると思います。

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館 寺田 様より



X(Twitter)



HP

調布市立中央図書館

ボランティア
からの報告

8月21日 6名参加

調布市立図書館では、館内の書架整理やパンフレットの折り畳み作業、予約された本の回収・提供の準備などの活動を体験していただきました。また、地下書庫や本を修理する作業室など、図書館の裏側を見学していただきました。

普段入れないような場所に入れてとても新鮮だった。また、作業工程などを見学したり体験したりして、こんなことまでやっているんだと新しい発見があり面白かった。



図書館の見えないところを見たり、作業をすることができて、とても良い経験になりました。感謝しながら本を借りようと思います。本を探す作業が楽しかったです。優しく丁寧に教えてくださり、ありがとうございました！



今まで入ることのできなかつた空間に入れたり、図書館での仕事の一部を体験することができとても楽しく、知らなかったことをたくさん知れてよかったです。



このボランティア活動で、今まで行ったことのないような場所も見ることができて、とても楽しかったです。図書館には、今はあまり見ることのできなかつた古い資料も沢山あって、すごいと思いました！私達が普段利用している図書館の裏ではとてもやる事が多く、大変な作業だと分かり、資料や本はこれからも大事に扱っていきたいと思います。また、図書館の地下の二層では棚が自動で動くシステムになっていて、驚きました！分館ごとに予約の本を分けてボックスに入れるときに、きれいに沢山の本を詰める方法なども教えて頂いて、時間も忘れてしまうほどとても充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました！！



地下室だったり、普段入れない場所に入れ、4・5階にない本を知れて良かったです。



予約が入った本を探してカートに入れていく作業が、まるで宝探しのようにとても面白かったです！また、その予約された本のバーコードを読み取って分館に送る本と、そうでない本を仕分ける作業もとても楽しかったです！いつも何気なく読みたい本を予約していましたが、裏ではこんなにたくさんの手間をかけた後に自分の手に本がきていたということ、いつも見えないところでこんなに色々な人の手がかかっていることに驚いたし、感謝の気持ちでいっぱいです！一般の方々が入れないような事務室や、地下の閉架にも行かせてくださりとても貴重な体験になりました！ありがとうございました！

団体から
ボランティアのみなさんへ

調布市立図書館では、いつでも、どこでも、だれでも気軽に利用できる図書館を目指して活動しています。中央図書館と10の分館からなる11の図書館があります。

一般の本・雑誌・新聞のほかにも、子ども向けの絵本や読みもの、調べものに必要な資料、オンラインデータベースなどの電子情報の提供など幅広い資料をご用意しています。

少しでも誰かのために何かをしたいと思ったら、ぜひその気持ちを大切にしてください。

調布市立図書館は皆さんのチャレンジを応援します！

調布市立中央図書館 図書館サービス係 小林様、山口様、森尻様、関様より



調布市立図書館

Chofu City Library Since 1966

X (twitter)



HP



調布ゆうあい福祉公社(デイサービス)



8月1日 2名、8月2日 1名、8月6日 1名
 8月9日 1名、8月10日 2名、8月19日 2名
 8月20日 1名、8月30日 1名
 延べ11名参加

調布ゆうあい福祉公社デイサービスでは、利用者さんのお話相手、体操、製作・レクリエーションのお手伝いをさせていただきました。クラリネットをご持参していただき演奏して下さった方もいらっしゃいました。

ボランティアからの報告

普段話す機会がない方たちとお話することが楽しかったです。職員の方が優しく教えてくれました。本当にありがとうございました！



強制がなくて、とても楽しかったです。



ほんとに短い時間でしたが、ありがとうございました。色々な方とお話できてほんとに楽しかったです。またこのような機会がありましたら参加させてもらいたいです。ありがとうございました。



初めてリクライニングベッドや車椅子のままでも入れるお風呂を見た。色んな工夫が施されていて、生活の質はこういった知恵と技術でできていると改めて感じた。職員の方もとても親切にしてくれて、お話をしていてどこか安心感と信頼感を抱けた。また、施設の外で箒を掃いている人や調理室にいた栄養士さんを見て、直接人と関わる仕事以外にも裏方での仕事の大切さも実感できた。



高齢者の方たちとあまり触れ合う機会がなかったので、このボランティアができてよかったです。



最近は、お年寄りの方と関わるのが少なくなってきたので、会話することや、一緒に運動するだけで楽しかったです。



団体からボランティアのみなさんへ

今回、数ある中からゆうあい福祉公社デイサービスを選んで下さりありがとうございます。参加者の中には「参加はしたが人の役にたてるのか？」「私は何もできないのでは？」と緊張し話してくれた方がいましたが、利用者さんは座っているあなたを見るなり興味深々に職員に質問してきたり、名前を覚えようとされていたりと、とてもよい刺激になっていたことは間違いありません。また、体操参加率が低い利用者さんがボランティアさんと一緒に参加できたりと職員が驚く場面もありました。何もできない？ほんとうに何もできていないのでしょうか？何かしなくちゃなんて考えなくていいんです。ただボランティアに参加したいという気持ちを大切に、肩の力を抜き是非体験しにきてください。私たち職員一同、あなたが来る日を楽しみに待っています。

調布ゆうあい福祉公社 茂田 樹里 様より

HP



公益財団法人 調布ゆうあい福祉公社

特定非営利活動法人高次脳機能障がい者活動センター

調布ドリーム

ボランティア
からの報告

8月1日 3名
8月10日 2名
8月21日 1名 延べ6名参加

調布ドリームでは、障害福祉サービスの生活訓練・就労継続支援B型事業にボランティアとして参加してもらい、利用者の方と一緒に活動していただきました。

まず初めにこの施設で行なっていることを一通り教えてもらい、その次にニックネームを決めました。基本的にこのような施設ではニックネームをつけることはないらしいのですが、高次脳機能障害を持つ方は、記憶能力が低下しているため、ニックネームなどで記憶容量を減らしているそうです。

この施設では2階で行う「自立訓練（生活訓練）」と1階で行う「就労継続支援 B型」という二種類のプログラムがあります。午前中は2階で行われている自立訓練の方を見学させていただきました。自立訓練では、生活リズムの獲得や就労に向けた準備などを行っています。この日はパソコンで課題を行うものでした。課題の内容は本の内容をパソコンで打ち込むものや簡単なポスターを渡されて同じものをワードで作るといったものなど人によって違いました。この時遂行機能障害という特性について教えてもらいました。遂行機能障害というのはその名の通り遂行をする機能に障害があるものです。例えば、パソコンで課題を行う際パソコンの開き方や電源の付け方、アプリケーションの開き方など遂行する方法がわからなくなるそうです。対処法として課題の書いてあるノートに電源の付け方などの詳細を書いておくということを行っていました。しかし、重度の人はそのノートを持ってくことや方法を書いてある場所を開けないなどの問題が生じるらしく、ある程度のところまでは繰り返すことによって覚えてもらうそうです。

気になったこととして、作業療法士の方が1階に降りる際にいつも「おりまーす」といっていたことです。聞いてみると、脳梗塞が再発し倒れたなどの緊急時にすぐに対応できるよう最低でも一人は同じ部屋に作業療法士の方などがいるようにして、徹底ぶりが感じられました。午後は1階での就労継続支援を行いました。こちらは就労に向けた実践的活動を行っているそうです。こちらには主に症状が軽度だった人や2階でのプログラムを行なって、ある程度回復した人がいるようでした。確かに、2階では会話などは確認できませんでしたが、会話などもよく行われていました。この日やっていた内容はプリントが配られ、それを解くという内容でした。これは全員共通のプリントでした。最初配られたプリントは30個ほど空欄がありそこに「い」から始まる単語をかけと言うものでした。高次脳機能障害の中でも特性は個人差があるらしく、人によってはスラスラ解く人もいましたが3個ほどしか思いつかない人もいました。このような人にはヒントを与えるのですが、あくまでも解くのは当事者なので答えを言うのではなく「海にいる足が10本の生き物」や「赤く甘酸っぱい果物で、よく〇〇狩りと言われている」など特徴だけ言い直接的表現は避けます。

最後に今回のボランティアで生じた疑問に答えてくれる時間を設けてくれました。高次脳機能障害を持つ人特有の困難として今までどのギャップに苦しんでいるひが多いと聞きました。高次脳機能障害は先天的な障害ではなく後天的に脳の手術や事故などで生じることが多いらしく、高次脳機能障害になる前は健常者で会社や大学に通ったりしていたそうです。高次脳機能障害になると、今までできた車の運転やパソコン作業、会話や記憶などの行為がいきなりできなくなり周りに助けしてもらえないと生きていけないという状態に放り出され、今までどのギャップに自尊心などが大きく傷つけられるそうです。

この団体は高次脳機能障害を持つ人を介護するための団体ではなく、自立するために手を貸す団体なのです。ここで重要なのが「自立」という言葉の意味です。ここでの自立と言いう意味は「苦手なことを克服しすべて自分で行うこと」ではなく、「自分の苦手なことを知り他の人に助けを求められることができることも自立していること」になっていることです。確かに自立の定義は「他の助けや支配なしに自分一人の力だけで物事を行うこと」ですが私はこの団体の「自立」という考え方にとても感動しました。高次脳機能障害を発症したての時は、自分自身でも何ができないのかもわからないらしく、自分が社会で何が不得意なのか何が得意なのかを見抜くための場所でもあるそうです。そのためにカラオケやコーラス、映画鑑賞、書道や卓球などいろいろなことに取り組んでいるそうです。また、高次脳機能障害は人により大きく特性が違うので人によりオーダーメイドで対応を変えていて、対応は本人と相談してなにが不得意かを聞き出しているそうです。そして、本人が疲れていないと言っても休憩をこまめに取るそうです。脳の疲労のことを精神疲労というそうですが、高次脳機能障害を発症したての時は、どのぐらい精神疲労が溜まっているのか自分で把握することが難しいらしいです。80%の脳で100%を出そうとするから本人からすると120%出していて、当事者の人によると「毎日トライアスロンをしているみたいだ」と言っていたそうです。僕も限局性学習障害を持っているので、この考え方や例えに僕はとても共感できました。これに関しては、他の限局性学習障害やADHDなどの発達性障害でも感覚としては一緒だと思いました。このような体験は今までしたことがなかったので新しい知識や考え方などを知り良い経験になりました。



すごく楽しかったし勉強になりました。



見た目は変わらないけれど、記憶障害など色々な障害を持っている人がいることを知り、話すときや関わる中で気をつけなければいけないことなども教えていただいてとても勉強になりました。



トレーニーの方々やスタッフの方々がとても優しく活動しやすかったです。実は私は折り紙が苦手です。トレーニーの方に折り方を教えているつもりが逆に教えられていた事に気付きました。新しい気付きを学びました。



とても貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。利用者さんの目を見て話し、その方がどのような状態か確認することの大切さを知りました。日常生活でもこの学びを活かしたいです。



見かけではわからないことだけど、人として嫌なこと嬉しいことは感覚として体にあって、皆んな一緒なんだよという職員さんのお話が心に残っています。思いやりの心を忘れずに生きていきたいです。ありがとうございました。



団体から ボランティアのみなさんへ

調布ドリームは高次脳機能障がい者に特化した、社会参加や社会復帰を目的とした通所施設です。同じ地域で暮らしていても、高次脳機能障がいはまだまだ知られていないのが現状です。高次脳機能障がいや、障がい者福祉について少しでも興味がありましたら、是非一度ボランティアにお越しください。

当事者研究や絵手紙、カラオケ、コーラス、筋トレ、卓球、地域のイベントへの参加、手作り品制作やリサイクルショップ運営など、日々さまざまな活動を行っています。

いつでもお待ちしております。

高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム
横田真帆 様より



HP

Chofu Dream

(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団

調布よさこい



8月24日 8名参加

スーパーボールすくい、スタンプラリー景品交換みなさん、積極的に活動に臨んでいただきました。お客様や他のボランティアの方同士でのコミュニケーションも図れておりました。急遽、暑さの為一部会場が中止となり、役割が変更となった方もありますが、急な変更にも対応していただきありがとうございました。

ボランティアからの報告

大人のスタッフの方から小さい子までたくさん話すことができ楽しかったです。貴重な体験になりました！



小さな子に、ありがとうって言って貰える嬉しさに気づいた。やっぱり、感謝の気持ちは口に出して生活していくべきなんだな、と実感した。



色々な人と関わり、特に大学生の方とは仲良くなれて人と交流する良い機会になったと思います。



子どもと関わることができ、すごく楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました！



出身校が、おなじであったり、子供さんが私とおなじ学校で繋がりができたりして楽しかったです！他の学校の人などとも仲良くなれて嬉しかったです！



よさこい祭りを支える人々を間近に感じられました。小さい子たちやその保護者の方が、楽しんでくださった様子が良かったです。ありがとうございました。



地域の方達と、話すことができました。場所を案内するなど色々な質問をうけ、なかなかやりがいのあるボランティアでした。



団体からボランティアのみなさんへ

ボランティアを始めるきっかけは、友達を作りたい！・何か始めてみたい！・人の役にたきたい！など様々で大丈夫です。特殊な技術等は必要ありません。興味を持つ気持ちがあればどなたでもご参加いただけます。

何かを始めることは勇気が必要かもしれませんが、一步踏み出すと意外にあっさりと物事が進んでいきますので、緊張せずに様々なボランティアを経験してみてください。

当財団でも、1年を通して「ちょうふアートサポーターズ」という文化ボランティアの皆さんが公演事業のチケットもぎりや、プログラム配布などの活動をしています。年度初めに研修を行い、高校生以上の方が参加しています。ご興味がありましたらサマーボランティアと併せてお問合せください。

(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団
 疊 由佳里 様より

HP



調布よさこい